

この紙のゴール：型を借りて、やってみたいことと目的を英語で言える・書ける

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

I want to visit Kyoto next spring.
来年の春、京都に行ってみたい。
I go to the library every Saturday to borrow new books.
毎週土曜、新しい本を借りに図書館へ行く。

型で書く 型で書く—_____だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): travel abroad / play the guitar / see the sea (2): talk with people from other countries / read English books (3): drink / write with)。型のほかの部分は変えなくてよい。

- (1) I want to _____. やってみたいこと
-
- (2) I study English to _____. 英語を勉強する目的
-
- (3) I need something to _____. 今ほしいもの (～するためのもの)
-

ペアで話す ペアで話す—1問ずつ交代

答え方の型: I want to _____. / Why には To _____. だけで答えられる (これも不定詞)。むずかしければ、上で書いた文をそのまま読んでよい。

- (1) What do you want to do this weekend?
今週末、何をしたい？
(2) Why do you study English?
なぜ英語を勉強しているの？

あいづち・返しの型: Nice. Me too. Sounds fun.

不定詞で話す・書く (基礎) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 3文つなげて「やってみたいこと」 思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで自分についての短い紹介になる。最後に、ペアの相手のやりたいことを1文で紹介: He / She wants to _____. (wants と s を付けるのがポイント)

評価 先生はここを見ます (加点式)

型のとおり3文書けている (to のうしろが動詞の原形)	+5点
_____に自分のことばが入っている	+3点
ペアの相手の紹介が1文ある (wants to の文)	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ